

(公社)インテリア産業協会 35周年記念事業

「INTERIOR MEETING in TOKYO 2018」に参加して

2018年11月にインテリア産業協会35周年記念事業としてINTERIOR MEETING in TOKYO 2018」が開催されました。「これからのインテリアコーディネーター・キッチンスペシャリスト資格者像として」と言うテーマでパネルディスカッションが開催されました。

特に印象に残っている内容としては、「得意分野、人より特化していることを見つける」と言うお話です。

得意分野を見つけ、自分自身をブランディングすることにより、優位性をアピールすることができるというお話をお伺いし、今の自分には得意分野があるのか自問自答いたしました。今の自分には特化している点がありませんが、自己分析をし、何が足りないかを知ることにより、弱みを強みに変え、ビジネスチャンスに繋げることができるということがわかりました。

また、1人でできないことも得意分野を持つ人々と繋がることにより、新たなネットワークを構築することができ、大きな推進力にすることができるというお話も興味深く伺い致しました。

コーディネーターの未来像については、インテリアコーディネーターは様々な経験の積み重ねを仕事に活かすことができる仕事であると言うことに改めて気づかされました。

私も、いろいろなアイデアを考え、自ら新たな仕事を創り出していったり、人と人を繋ぐ、総合プロデューサーのような役割を果たすこともできるようなインテリアコーディネーターを目指します。

インテリアミーティングに参加することにより、お客様のニーズに気づき、様々なアイデアを取り入れることにより、新たなインテリアコーディネーターの業務の多様性や可能性が生まれることに気づかされました。これからの業務に生かしていきます。

この度は、インテリアコーディネーターの最前線で活躍されている諸先輩方のお伺いすることができ、とても勉強になりました。このような機会をいただき、ありがとうございます。
喜古 美千代

新担当者紹介

壁紙のトキワ産業仙台営業所 荏司 悠です。悠と書いてはるかかと読みます。よろしくお願ひいたします。

トキワに入社し、4年目になります。

初めて担当するエリアなので、わからない事もたくさんあり、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、わからないことをそのままにせず、皆様にアドバイスをいただきながら、「トキワと言えば荏司 悠」と思ってもらえるよう、頑張ります。

よろしくお願ひいたします。

●リリカラ編

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？

今年は春が早やそうですね。春といえば桜、北東北の桜の名所を紹介します。

秋田県はみちのくの小京都 角館。2kmわたる桜のトンネル 松木内川堤、そして武家屋敷の黒塀に映える樹齢300年以上の約400本のシダレザクラ、162本は国の天然記念物。これは是非、一度見る価値はあります。車はかなり混みます。平日に！郡山を早く出て、刺巻のミスバショウ、乳頭温泉、田沢湖にも足を延ばしてみても？

青森はもちろん 弘前公園。りんごを育てる際、上には伸ばさず横に広く収穫しやすいように育てます。その技術で桜も育てたので1本1本が迫力があります。

200万人がお花見を楽しむ日本一の桜祭りです。現在、弘前城、大規模改修中、石垣改修のため天守を70m移動 完成まで10年かかると言われていますが、石垣に乗っていない天守がみられるのも貴重？

みなさんがこれを読むころにはもう散っている？それより行ったことありますよね？
永田 孝弘

●タチカワブラインド工業編

会津地区を4年、現在は郡山市内、浜通りを担当しています。

出身は郡山市で、福島県が大好きな33歳です。最近のマイブームはスニーカーです。

製品では6月3日にロールスクリーン「デュオレ」がリニューアルします。『デュオレ』は、プライバシーを守りながら光の量を調整できる調光ロールスクリーンです。新柄・新アイテムを追加し6柄27アイテムになり生地のラインナップが充実しました。

宜しくお願いいたします。
渋谷 拓郎

事務局だより

本年度から、事務局をさせていただいております佐藤です。本年度は飛騨高山研修旅行など家具好きにはたまらない企画や、(公社)インテリア産業協会35周年記念事業に参加させていただき、充実した1年となりました。

それぞれお忙しい中、役員の皆様、FIC会員の皆様、そして賛助会員の皆様、ご協力に感謝申し上げます。今後とも、楽しい時間を宜しくおねがいいたします。
佐藤

編集後記

新元号が令和となり新しい時代がやってきました。「令和」は万葉集で希望とともに花咲かす日本に「我々日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたい」との事、私たち福島県インテリアコーディネーター倶楽部も新しい時代に相応しく、生まれ変わります。第一弾として新FICプレスを皆様にお届け致します。
広報委員長 車田

FIC

NO.48

2019年
5月1日 発行

Fukushimaken Interior coordinator Club



名称	福島県インテリアコーディネーター倶楽部 Fukushimaken Interior Coordinator Club
設立	平成3年5月
会員数	正会員:36名 賛助会員:22社 (令和元年5月)

現在、多くの人々が自分のライフスタイルに合った快適な住空間を持ちたいと願っています。住まいづくりとインテリアの演出を担っているインテリアコーディネーターの役割は、ますます不可欠になることと思います。

そこで当クラブは、消費者と業者の架け橋になるべく、平成3年5月に「福島県インテリアコーディネータークラブ」として発足致しました。会員の知識と感性の向上をはかり、県内の地域住民の方々のお役に立てるコーディネーター組織として、次のような事業を行っております。

- ・総会、講演会、研究会、見学会による情報・技術の交換
- ・会員相互の親睦
- ・その他、目的達成に必要な事業

インテリアコーディネーターの役割を広く皆様に理解して頂き、よりよい住まいづくりのお役にたてるよう啓蒙活動をし社会貢献を行ってまいります。

- 編集・発行/
福島県インテリアコーディネーター
倶楽部 広報委員会



- 事務局/福島市豊田町4-22 佐藤
<http://fukushima-icclub.com/>

会長挨拶

令和元年5月1日 FIC28年目が始まります。事務局をはじめ皆さまに助けられながら会長の任期も半分が過ぎ、ほっとしつつもまだまだ、何ともしようがないかなと反省しています。

FIC 設立が平成3年、メンバーの中には「昭和」の頃(後半?)から働いている方、たくさんいますね。

「平成」の31年間でいちばん変わったのは「プレゼン」の方法がではないでしょうか。

図面は手描き、変更があるたびに苦労しました。メーカーさんに電話して、カタログやサンプルを送ってもらい図面に切り貼りしたり、文字を書くのがいやでワープロで書いたものを貼ったり…

パースは製図板からはみ出したところに点をとって描いていました。今では、納まらない平面を入力しても、ちゃんと立体的に見えてしまう。色や形の変更も、違う角度からみるのも簡単な「入力」でOK。

インテリアのプロとして、空間・色・素材・金額を正確に伝える手段のひとつとして、便利なものはどんどん利用してラクしていきましょう!

ICとして、時代が変わっても、生活の中で必要な時間と空間、残すべき技術や伝統を常に意識した提案ができればと思います。

仕事に厳しく、好奇心旺盛、余暇も楽しむ。そんな FIC メンバーが、知識の向上や情報交換の場として楽しく集える倶楽部がいつまでも続くよう、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

松本 里か

平成30年度 定時総会

2018年
6月13日



総会記念講演
「ストーリーから
生まれるデザイン」
講師 安齋 好太郎様



活動報告

2018年8月29日
各委員会打合せ 納涼会



2018年10月31日
タブレットセミナー 講師 大田 和宗様



2018年11月28日 クリナップ見学



2019年2月20日 セミナー
「天然素材の良さをインテリアに生かす」
講師 鈴木 美佐子様



飛驒研修旅行

平成30年9月11日(火)～13日(木)

いざ飛驒へ!
1日目
9月11日(火)

仙台空港～中部国際空港～飛驒高山へ
巧館(株)シラカワ訪問研修

巧館(株)シラカワ

飛驒には1300年前から都の造営や家具造りに携わってきた匠の技が継承されていた。近代化に伴い大正時代にブナ材を利用したトーンネットの曲木の椅子作りからスタートし、椅子の産地としてブランドを築いてきた。

伝統ある飛驒の家具の歴史について学びました。



レストランで食事をしながら宮城のICの皆様との交流も深まりました。

河野さん・湯目さん
ありがとうございました!

飛驒
3日目
9月13日(木)

日進木工(株)～INAXライブミュージアム

日進木工(株)



硝子の脚と無垢板のテーブル
新新で素敵!!

飛驒
2日目
9月12日(水)

フィン・ユール(株)キタニ～白川郷(世界遺産)散策～
飛驒の家具館 飛驒産業(株)～高山市内散策

フィン・ユール(株)キタニ

建築家でもあったフィン・ユールの自宅を再現したプロジェクト。実際に暮らしの中で使用するために制作された椅子たち。どの椅子も空間にマッチしとても良い座り心地でした。株キタニさんの家具づくりに対する真摯で熱い思いが伝わってきました。



奥さんに試作の椅子の座り心地を試してもらった椅子。



皆さんバッグを購入した! 革のはしれれを買っていましたが作品ができたら見せてくださいね(´-`)☆



家具職人のシンボル手工神の像が入口にありました。



白川郷散策



高台から見た
穏やかで
美しい風景。



畳巻や手作りの家具が懐かしい感じ。

飛驒の家具館 飛驒産業(株)

「飛驒の家具」のバイオニア飛驒産業(株) 雑誌か、下駄にしが使われていなかった豊富に自生していたブナ材を活用し、曲木の椅子から家具づくりに取り組みました。飛驒デザイン憲章を掲げ、飛驒のデザインと品質の優秀性を日本だけでなく世界に発信しています。使いたいほどに深い味わいが出る家具。ソファのクッションの張り替えをして長く使うお客様も多いとの事。毎日使う物こそ良いものを使いたいですね。



暮らしになじんだソファ、クッションの張り替えの依頼も多いとのこと。



ていねいに説明していただきました。

INAXライブミュージアム



INAXライブミュージアムは世界のタイル博物館、土・ドロンコ館、建築陶器の始まり館などタイルの歴史を学んだり、体験したりできる様々な施設がありとても楽しい場所でした。時間があつたらびかびかの泥団子に挑戦してみたかったです。



どこかで見たような小道具。色々な色があってあじわいがありました。

